

	審議会の審議（答申）事項	A	B	C	理由
①	改定の必要性の有無	有	無(改定率0)	その他 (内容)	
			・維持管理費を使用料で賄えず、国基準に抵触 ・多額の赤字補填を継続		
②	料金改定の程度 (改定率)	パターン①(約37.1%増)	パターン②(約24.5%増)	その他 (内容)	
		・期間中の赤字補填の解消（独立採算） ・公営企業として目指すべきパターン ・現役世代に負担感高い	・期間中の赤字補填を抑制 ・パターン①に向けた段階的対応 ・経費回収率80％に基づく赤字補填を受ける ・負担感は若干抑えられる		
参考	答申の表現について	改定率を明記 (例)～に基づき、改定率を●%とすること。	改定率を明記しない ①上限付きで明記 (例)上限●%とし、可能な限り低く抑えること ②改定率を明記しない (例)国の基準に照らし、可能な限り一般会計からの繰入れを実施した上で改定率を検討すること	その他	